

# 日本自殺総合対策学会 2024年政策研究会 ～民間団体の活動から学ぶ～

日本自殺総合対策学会では、これまで研究者、民間団体、教員、自治体職員、医療関係者など、様々な職種がネットワークでつながる形で、新たな自殺対策の政策形成に資する学術的基盤の共有と成果の社会還元を目的に活動を行ってきました。

また、社会的孤立等の影響による自殺リスクの高まりが懸念されています。孤独・孤立に関する個人の悩みは複雑化・多様化しており、相談窓口は分野やエリアに応じた様々なものが存在しているものの、各主体のみでは複雑・多様な課題への対処に限界があります。相談支援を求める当事者等の立場からは、様々な相談窓口があるが故に適切な相談窓口を探すことができず、結果、相談を諦めてしまうケースも考えられます。

そこで、「2024年政策研究会」では、社会的孤立・孤独の問題について現場で取り組む民間団体の活動報告を共有し、当事者等にとって必要なネットワークづくりの在り方に向けた議論を行います。

**日時** 2024年6月25日（火） 13:30-15:30

**開催方法** Zoomウェビナーによるオンライン開催

**対象** 会員（無料）、非会員（無料）

※どなたでもご参加いただけます。ただし非会員の方で、発表資料および動画のオンデマンド配信をご希望の場合、資料代として1,000円が必要です。

**申込方法** 学会Webサイト（下記のURL又は右記のQRコード）よりお申込みください。  
[https://jscsc.smooosy.atlas.jp/ja/studymeeting\\_2024](https://jscsc.smooosy.atlas.jp/ja/studymeeting_2024)

**申込期限** 2024年6月18日（火）まで

## プログラム

### (1) 講演(活動報告)

渡辺ゆりか氏（一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事）

演題：孤立する若者を中心としたネットワークの「効果」と「限界性」から  
自殺対策を考える

### (2) 質疑応答/ディスカッション



## 渡辺 ゆりか 氏 プロフィール

○一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事。

○大学卒業後、広告代理店でのデザイン・企画の仕事を経て、2004年より就労支援の道へ。生活保護受給者や障がい者への就労支援・生活支援に携わる。

○2011年4月、「草の根ささえあいプロジェクト」立ち上げ。制度のはざまの方を孤立させないためのボランティアバンク「猫の手バンク」や、地域のネットワークを多様につなげるためのワークショップ「できることもちよりワークショップ」を自主事業として開始。2013年から、子ども・若者を対象とした相談のワンストップセンター「名古屋子ども・若者総合相談センター」を開所し2019年までセンター長を務める。2014年～2016年には、生活困窮者自立支援法の就労訓練事業（中間的就労）モデル事業を実施。2019年から働きたい若者と企業をつなぐ名古屋市若者・企業リンクサポート事業所長。

○「誰もが人とのつながりの中で、自分の成長と人への優しさを生み出せる社会」の実現に向け、仲間と奔走中。

○日本自殺総合対策学会理事

主催：日本自殺総合対策学会

後援：厚生労働省、いのち支える自殺対策推進センター